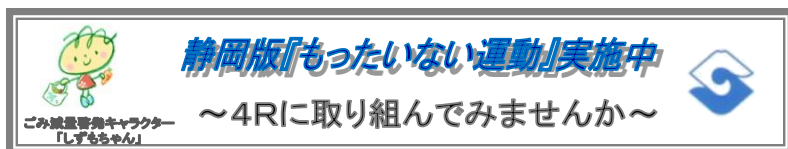


# 家庭ごみ有料化制度に関する 意見交換会 資料

検討の背景、意義・効果について



静岡市環境局廃棄物対策部  
廃棄物政策課

# 静岡市の廃棄物処理事業における使命

現在及び将来のすべての市民が  
健康で文化的な生活を営むことのできる  
良好な環境の創造

「静岡市環境基本条例」より

「環境共生都市しずおか」  
の実現へ向けて…

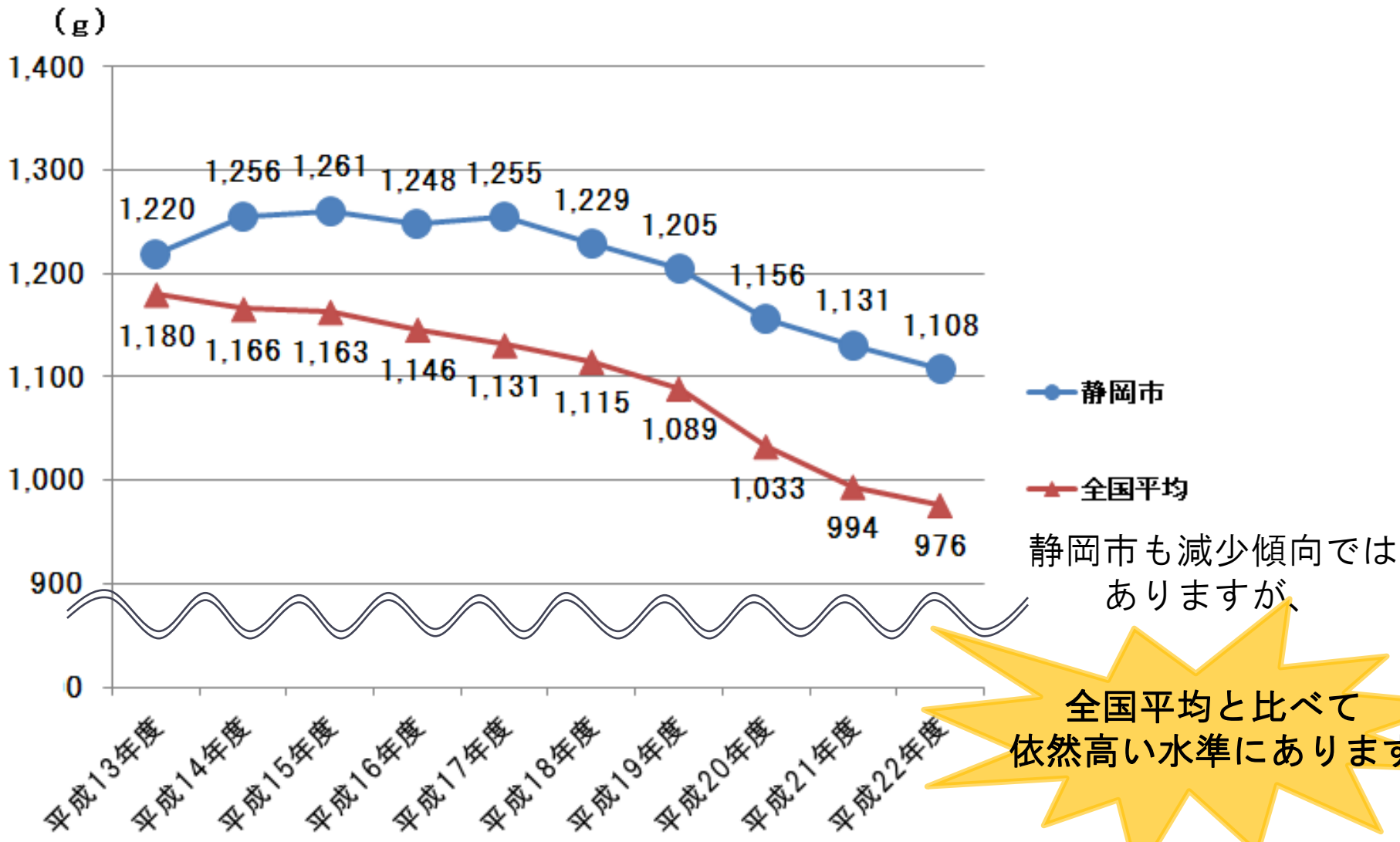
天然資源の消費を抑制し、環境への負荷を低減した  
「循環型社会」への転換が必要

「静岡市一般廃棄物処理基本計画」より

- ごみとなるものをもらわない、断る
- 発生するごみをできる限り少なくする
- 資源として再生利用等できるものは有効に活用する

# 一人1日あたりのごみ総排出量の推移

※ ごみ総排出量・・・可燃ごみ、不燃・粗大ごみ、資源ごみ



# ごみ総排出量を削減する

ごみが多くて困る？  
リサイクルすればいいんじゃない！？

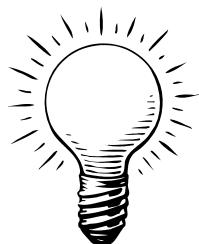
どんどん新しいリサイクル手法を取り入れて、  
資源化を促進すれば良いのでは！？



「資源ごみ」を再資源化するためには、新たにエネルギーを消費する必要がある等、環境への負荷が少なからず発生します。

そのため、静岡市では「資源ごみ」を含めた、「ごみ総排出量」を削減していくことを目標としています。

加えて、新たな品目を再資源化したり、回収頻度の増加等、新体制の構築をするには、多大な経費も必要となります。



まずは、「可燃ごみ」「不燃・粗大ごみ」「資源ごみ」を含めた、  
ごみ総排出量の削減

環境への負荷が少ない手法を選択

限られた資金の中、効率的で有効な手法を選択

# 廃棄物処理事業における課題

## 最終処分量の減少

→ 最終処分場の延命化

- ・本市最終処分場の残余年数は約10年程度
- ・新規最終処分場の整備には多大な費用と年数が必要

## ごみ総排出量の減量

- ・処理量そのものを減少

## 資源の有効利用の促進

## 環境への負荷の低減

- ・天然資源の消費抑制
- ・温室効果ガスの排出抑制

## 廃棄物処理施設整備計画への反映

- ・処理量に見合った処理施設の整備
- ・資源化施策に合致した施設の確保

## 負担の公平性の確保

- ・各種施策への協力に繋がる行動に対するインセンティブの付与

## ごみ処理事業に対する理解の促進

- ・排出側の意識改革の必要性
- ・廃棄物処理施設の立地に関する市民の理解

# 4 R (フォーアール) について

アール

静岡版もったいない運動実施中

## 4R に取り組むことが大切です

～まずはリフューズ・リデュースから取り組みを～



ごみ減量啓発キャラクター  
しずもちゃん

### Refuse

#### ① リフューズ(断る)

- すぐにごみになる物はもらわない。
- マイバッグを持参し、レジ袋や過剰包装を断る。

いりません



### Reduce

#### ② リデュース(減らす)

- 詰め替え出来る商品や、ばら売りしているものを利用する。
- 物を大切に、できるだけごみを出さない。



### Reuse

#### ③ リユース(再使用する)

- まだ使える物は、もう一度利用する。
- リサイクルショップやフリーマーケットを利用する。



### Recycle

#### ④ リサイクル(再利用する)

- 大切な資源を正しく分別する。
- リサイクル商品を購入する。



静岡市環境局

ごみの減量化、資源化に関して、4つのRを掲げて施策を推進しています。中でも、リフューズ（発生抑制）を優先順位が最も高い行動として位置付けています。

# 可燃ごみ組成調査結果について

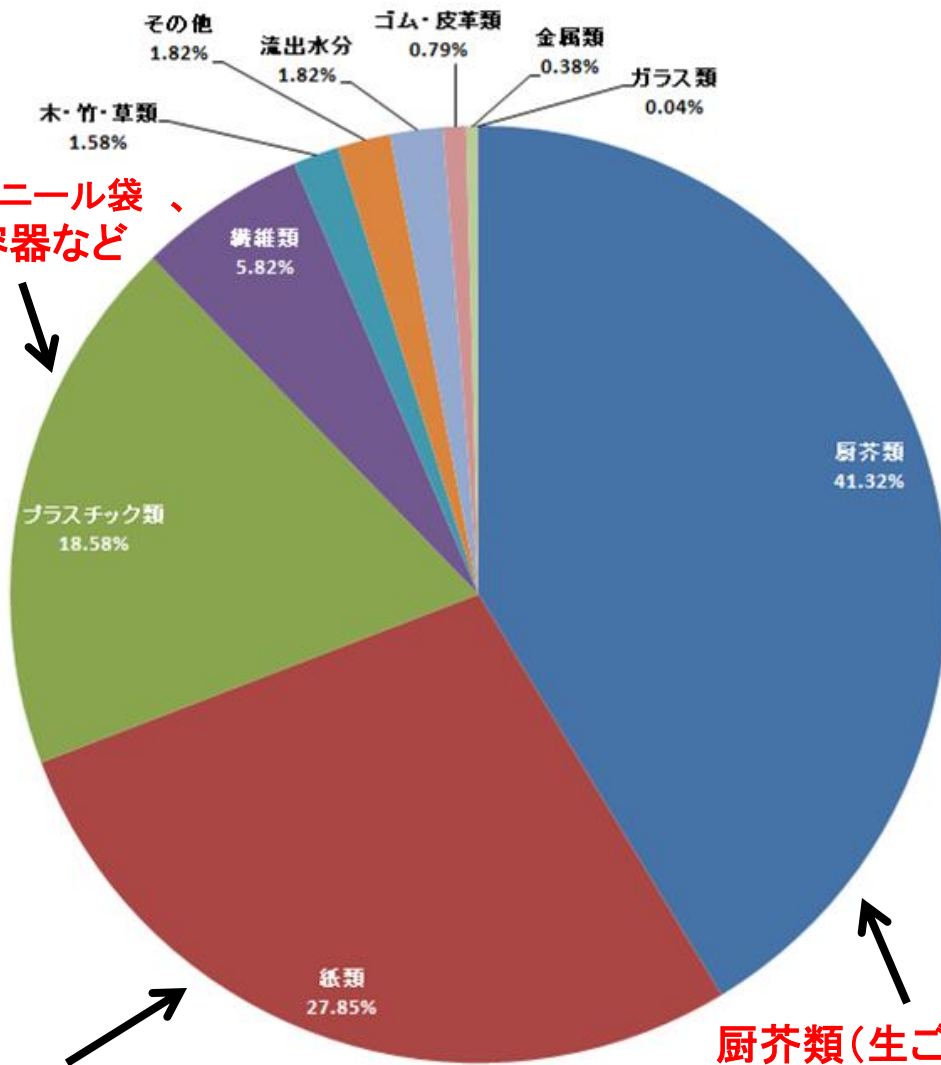
平成23年度 家庭系可燃ごみ組成調査結果 (%)

厨芥類 (生ごみ) . . . 約 41 ~ 42 %  
 紙類 . . . . . 約 28 ~ 30 %  
 プラスチック類 . . . 約 19 ~ 20 %

静岡市：平成23年度一人1日あたりごみ総排出量…1,072 g

<参考>

仙台市：平成22年度一人1日あたりごみ総排出量… 962 g



ビニール袋、  
容器など

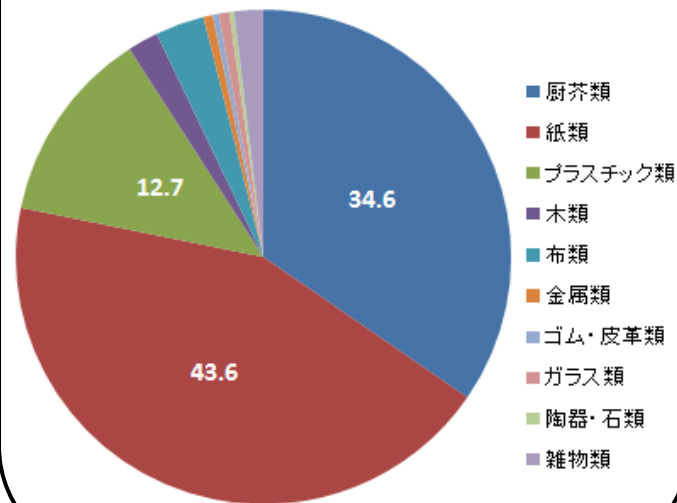
厨芥類(生ごみ)  
食べ残し 野菜くず  
など

雑紙(ざつがみ)、汚れた  
紙、ティッシュ など

- 厨芥類
- 紙類
- プラスチック類
- 繊維類
- 木・竹・草類
- その他
- 流出水分
- ゴム・皮革類
- 金属類
- ガラス類

<参考>

仙台市  
平成22年度 家庭ごみ組成調査結果 (%)



仙台市「平成23年度環境局事業概要」より

# 静岡市が実施している施策について

## 家庭ごみの減量化・資源化

・ 生ごみの減量化・資源化、紙ごみの減量化・資源化、集団回収への積極的な取り組み

- 「生ごみ処理機器の購入補助制度」
- 「チャレンジ！雑紙回収！！」  
協力団体を選定し、児童・保護者等を対象とした雑紙回収の講座を開催
- 「環境教育」  
啓発施設において、次世代を担う児童・生徒への環境教育を実施
- 「チャレンジ4R日記」  
4Rを意識した生活に挑戦してもらい、その結果を日記形式で綴る。啓発施設に展示予定
- 「ごみリサイクル展・もったいないキャンペーン」
- 「マイバッグ、マイ箸、マイボトル持参運動」



## 事業系ごみの減量化・資源化

・ 拡大生産者責任の徹底、多量排出事業所への指導、事業所ごみの資源化先の案内

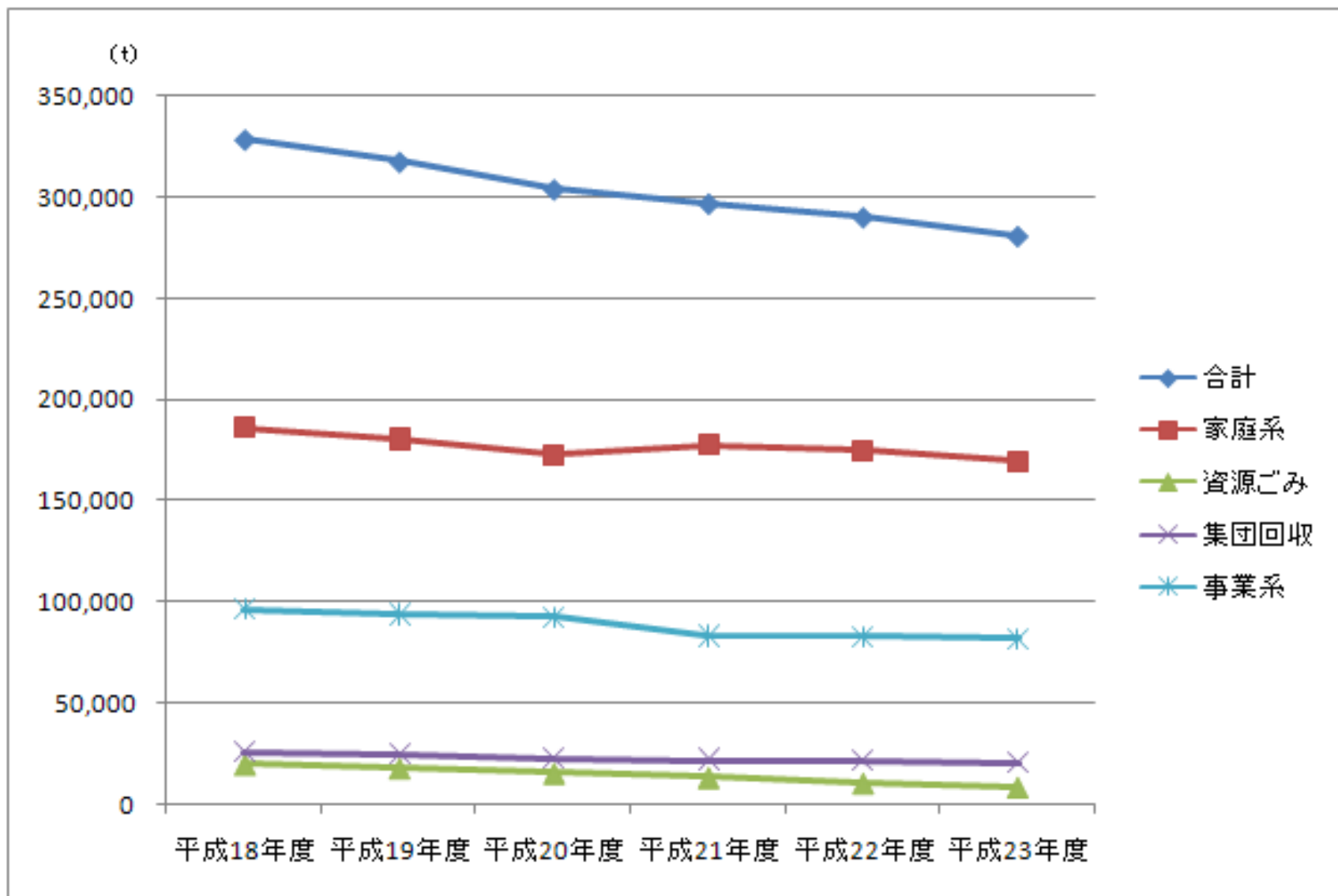
- 「レジ袋削減に向けた取組に関する協定」  
施策の主旨に賛同する事業者と協働し、ごみ減量を展開
- 「多量排出事業所立入指導」  
年間約100件の事業所に対して、ごみ減量化等を促す指導を実施
- 「紙類のリサイクルルートへの誘導」  
古紙問屋等の情報提供や、分別徹底指導による資源化の促進





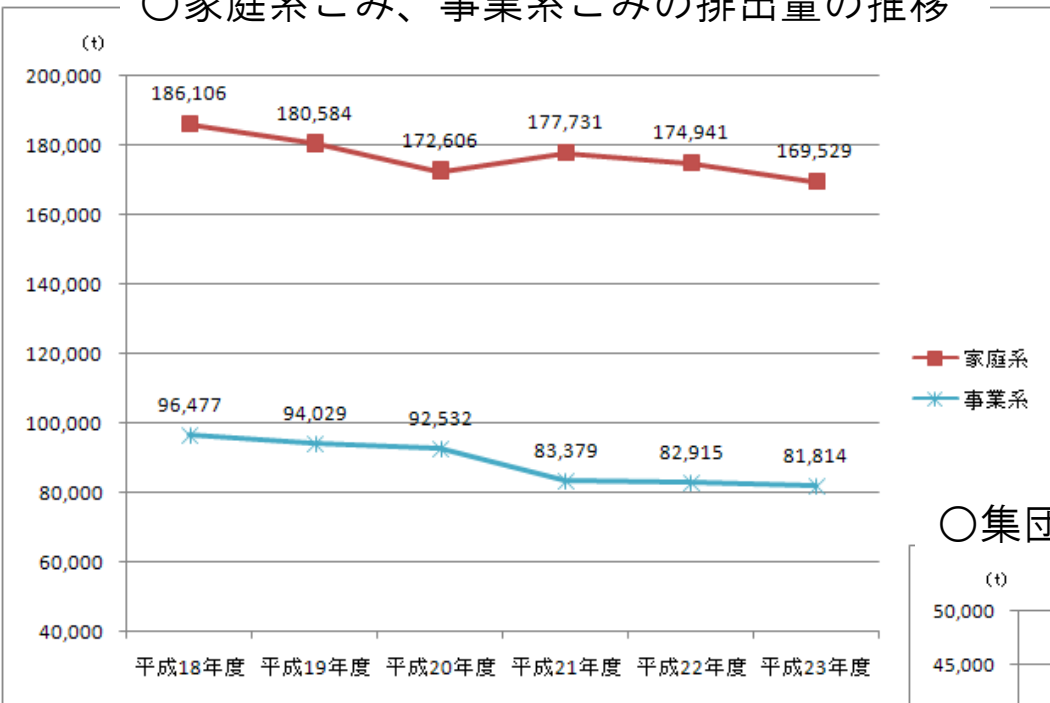
# ごみ種類別排出量の推移 1

○ごみ種類別排出量の推移（合計）

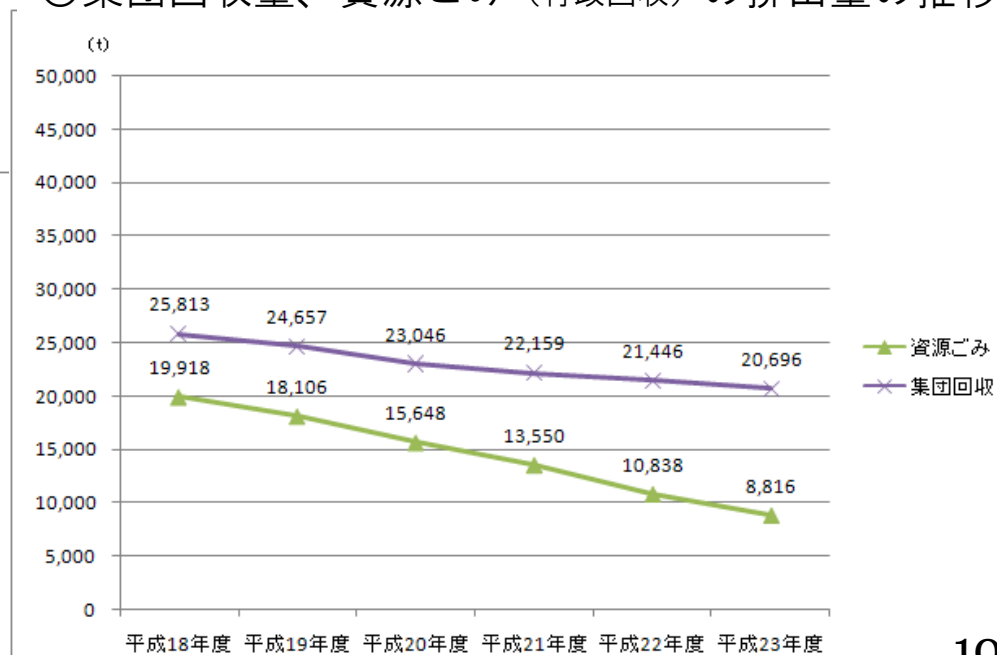


## ごみ種類別排出量の推移 2

○家庭系ごみ、事業系ごみの排出量の推移



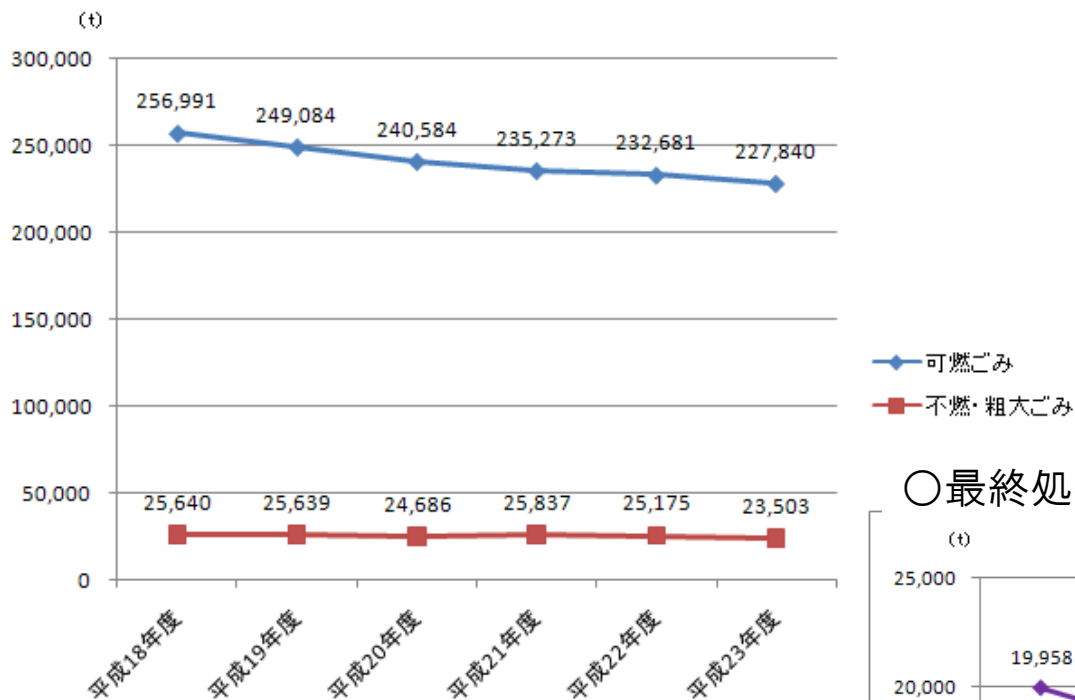
○集団回収量、資源ごみ（行政回収）の排出量の推移



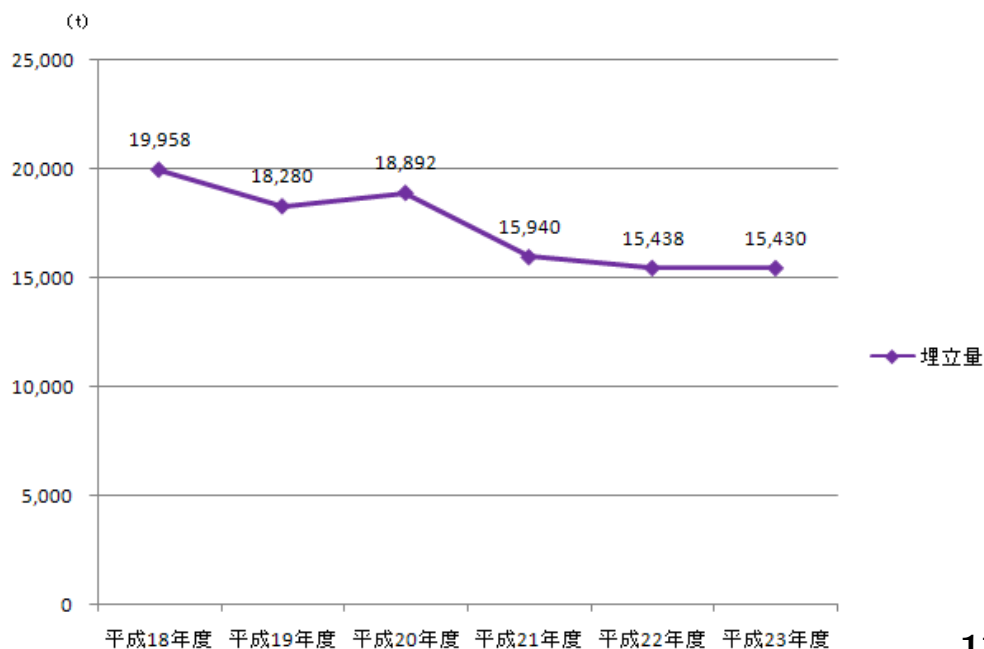
※資源ごみ…古紙類、びん、缶、ペットボトル、白色トレイ

# その他の推移 その1

○可燃ごみ、不燃・粗大ごみの排出量の推移（家庭系、事業系の合算）

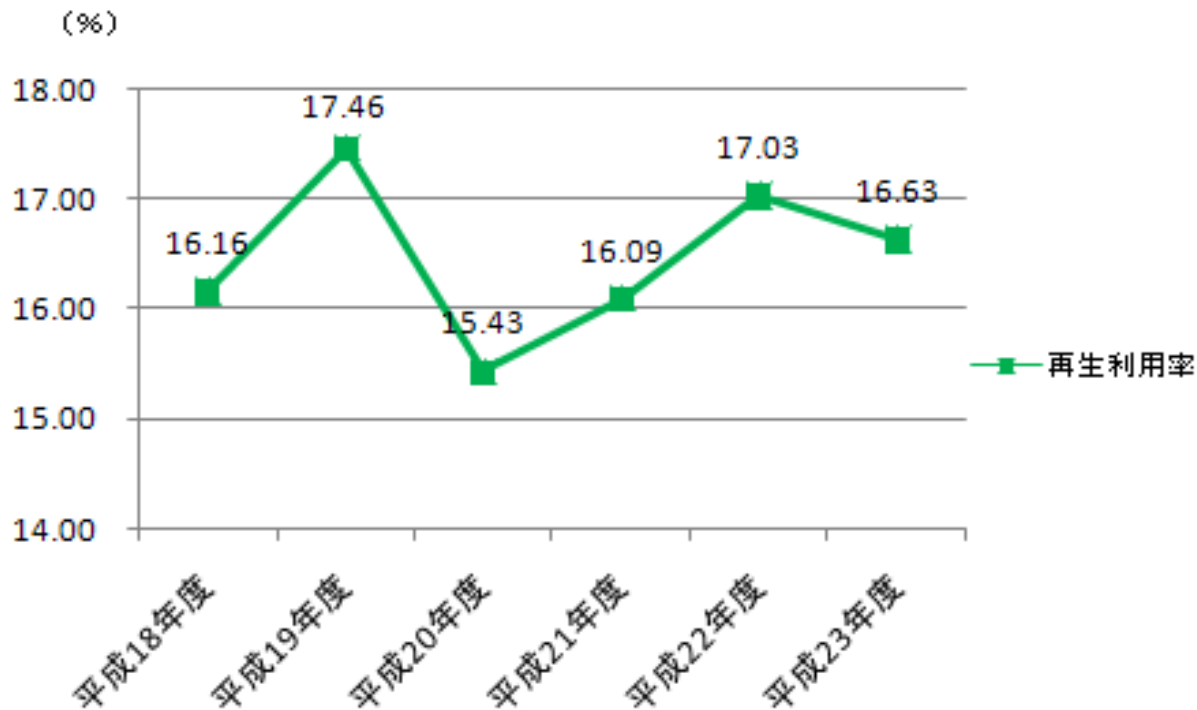


○最終処分場への埋立量の推移（沼上最終処分場）



## その他の推移 その2

### ○再生利用率の推移



※再生利用率… (資源ごみ+集団回収+鉄分回収量+スラグ有効利用量+メタル売払量) ÷ごみ総排出量 (資源ごみ含む。)

#### <鉄分回収量>

不燃・粗大ごみの破碎・選別処理過程で発生する鉄類等の金属で、資源物として有効活用した量

#### <スラグ有効利用量>

廃棄物を焼却・溶融処理する過程で生成される「溶融スラグ」を資源物として有効活用した量  
埋戻材、再生アスファルト舗装の材料等の建設資材として活用

#### <メタル売払量>

廃棄物を焼却・溶融処理する過程で生成される「溶融メタル」を資源物として有効活用した量  
金属として有価で売却

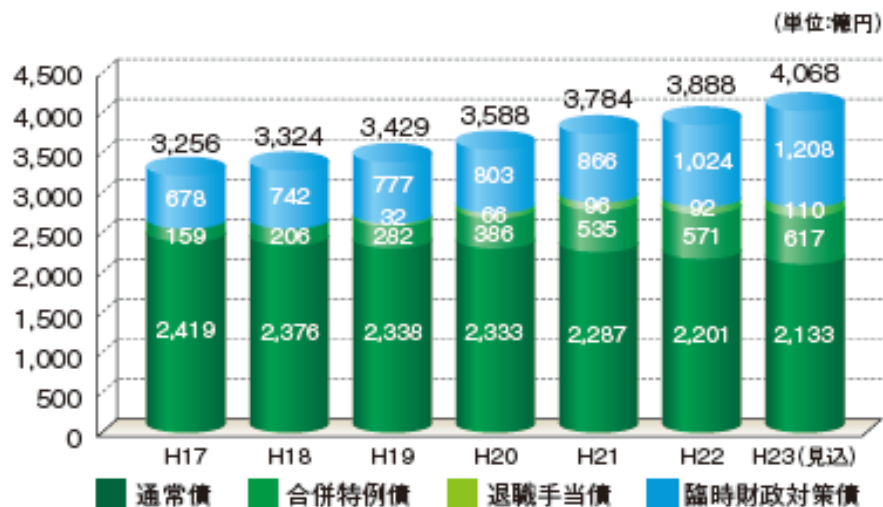
# 清掃費等について

## ○清掃予算（当初）の推移

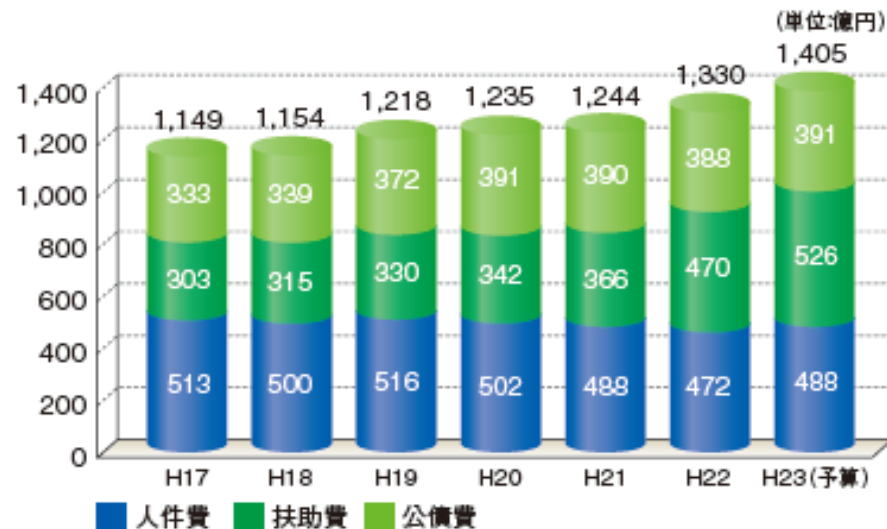
	一般会計	清掃費	一般会計に占める割合	一人当たり清掃費	一世帯当たり清掃費
	千円	千円	%	円	円
平成18年度	256,360,000	8,968,666	3.5	12,573	32,349
平成19年度	267,900,000	11,276,019	4.2	15,840	40,280
平成20年度	278,900,000	16,433,714	5.9	23,118	58,161
平成21年度	282,000,000	16,073,616	5.7	22,367	55,784
平成22年度	266,700,000	10,329,991	3.9	14,396	35,511
平成23年度	276,200,000	8,278,220	3.0	11,536	28,458

注) ・平成19～21年度は西ヶ谷清掃工場建設費、資源循環センター建設費を含む。  
 ・平成22、23年度は資源循環センター建設費を含む。  
 ・一人、一世帯あたりの清掃費の算出には、前年度末住民基本台帳人口・世帯を使用

### 市の借金「市債」が年々増えています




### 必ず支払いが必要な経費が財政を圧迫しています



## ごみ減量等の具体的な手法

さらなるごみ減量等の施策としては何があるのだろうか？



容器包装削減の徹底 ・ ・ ・ リフューズ、リデュース  
使い捨て製品の使用抑制 ・ ・ ・ リフューズ、リデュース  
物々交換等の案内 ・ ・ ・ リユース  
リユース・リペア教室 ・ ・ ・ リユース  
家庭等から発生する生ごみの飼料化、堆肥化 ・ ・ ・ リサイクル  
容器包装類の再資源化 ・ ・ ・ リサイクル

ごみ減量に関する施策を推進するに際し、上記のような各種施策が想定されますが、現状の税収のみを財源とする家庭ごみ処理事業は、排出量の多い住民と少ない住民とでサービスに応じた費用負担に差が無いといった不公平感が生じる事が懸念されます。

リフューズ（発生抑制）に直接作用する家庭ごみ有料化制度は、ごみの総排出量の削減には効果的であり、負担の公平性の確保にも繋がるものと考えられます。

# 家庭ごみ有料化制度導入による効果

## 発生抑制や再生利用の促進

- ・ 最終処分量の減少 → 最終処分場の延命化
- ・ 処理施設をより小規模なごみ排出量に合った適正規模に抑えることが可能
- ・ 焼却処分量の削減による温室効果ガスの排出抑制、天然資源の消費の抑制等

## 負担の公平性の確保

- ・ 排出量に応じて手数料を徴収する有料化制度を導入することによる費用負担の公平性の確保
- ・ ごみ排出量の減量＝ごみ処理手数料の負担の減少

## ごみ処理事業等に関する意識改革

- ・ ごみ処理費用を日常生活でも意識することによる、ごみ排出に係る意識改革
- ・ ごみの発生が少ない商品の選択や不用・不急の商品の購入の抑制、製品の再使用の促進等の発生抑制効果

## その他の波及効果

- ・ 手数料収入の廃棄物関連施策の財源への充当
  - 新たなごみ減量, リサイクル施策の実施
  - 施設整備のための基金の積み立て 等
- 集団回収等への助成

## おわりに

本市では、様々な課題に対して各種施策の検討を行っており、施策の計画的な実施のために、ごみの減量化・資源化等の廃棄物処理行政に関する基本的な計画として、パブリックコメント等を通して市民の皆様のご意見を伺ったうえで、「静岡市一般廃棄物処理基本計画」を策定しています。

その中で、ごみ減量化等の課題解決の手法のひとつとして、家庭ごみ有料化制度導入の検討があげられています。

また、上記計画では、平成25年度に導入是非の判断をするという施策スケジュールを示しています。

家庭ごみ有料化制度の導入については、先述のとおり、まだ決定したという段階にはありません。

本年度は市民の皆様幅広くご意見を伺い、検討段階から市民意見を反映した施策の実施を目指しています。

引き続き、本市廃棄物行政に対するご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

ありがとうございました。